

特殊詐欺被害 危険度測定シート

～あなたの隙が狙われています～

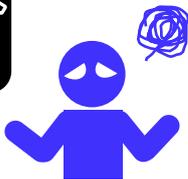
次のうち、あてはまる項目に「☑」をしてください
 ☑の数であなたが特殊詐欺にあう危険度を判定します。



- 自宅に固定電話☎がある。
- 特殊詐欺の代表的な手口である「預貯金詐欺」「還付金詐欺」「架空料金請求詐欺」「オレオレ詐欺」がどのようなものか知らない。
- 知らない番号からの着信を拒否する設定（非通知拒否）や留守番電話機能を使っていない。
- 固定電話に自動録音やナンバー表示等の防犯機能がついていない。
- 平日の日中は家に居ることが多い。
- 宅急便やゆうパック、レターパックで現金を送ってもいいと思う。
- 特殊詐欺の予兆電話（アポ電）がかかってきても見抜く自信がある。
- 警察や金融機関職員が、暗証番号を聞いたりキャッシュカードを預ると思う。
- 警察や消費生活センター等に詐欺被害の相談窓口があるのを知らない。
- 兵庫県警が防犯情報をメールで配信する「ひょうご防犯ネット」に登録していない。
- 携帯電話やパソコンでネットやメールをしている。
- お金が返ってくるという話は信じてしまう。
- タウンページや卒業生名簿等に電話番号を載せている。
- 息子（孫）と別居、又は同居していても話す機会が少ない。
- キャッシュカードに生体認証機能を搭載したり、ATMの利用限度額引き下げ設定をする等、詐欺被害を防ぐための対策をしていない。



お手上げ



安心 (騙されにくい)

☑0～4個



物色中



油断大敵

☑5～8個



アポ電中



注意

☑9～11個



被害発生



危険 (騙されやすい)

☑12～15個